【別紙様式６】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 類型名 | ふりがな |  | ふりがな |  |
|  | 管理機関名 |  | 学校名 |  |

２０１９年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 構想調書（学校）

１　研究開発構想名

２　研究開発の目的・目標

３　研究開発の概要

４　学校の概要（設置学科、生徒数等）

５　研究開発の具体的指標

（１）地域人材を育成する高校としての活動指標

（ア）地域課題研究又は発展的な実践の実施状況を測るものとして，地域協働推進校となる高等学校等において設定した活動指標（検討会議の開催回数，研究授業の実施回数等）

（イ）普及・促進に向けた取組の実施状況を測るものとして，地域協働推進校となる高等学校等において設定した活動指標（先進校としての研究発表回数等）

（ウ）その他本構想における取組の具体的指標（該当がある場合のみ）

６　実施体制

（１）研究開発に係る校内の実施体制

（２）教師の役割及び担当する教師等に対する支援体制

（３）カリキュラム開発等専門家，海外交流アドバイザー及び地域協働学習実施支援員の学校内における役割・位置付け

（４）研究開発の進捗管理，計画・方法の改善方策

（５）成果の検証・評価のための外部有識者等の参画・支援

（６）教育課程等の研究開発に関する組織体制整備の実績（該当がある場合のみ）

７　研究開発計画

（１）現状分析、仮説及び期待される効果

（２）実施内容、実施方法及びスケジュール

（３）仮説の検証に係る実施対象（対象とする生徒数、学科・コース間の比較等）

（４）先進的な地域課題研究等の実績及び当該実績の計画への反映（該当がある場合のみ）

８　研究開発内容

（１）地域との協働による探究的な学びを実現する学習の実施計画（各教科・科目や総合的な学習（探究）の時間，学校設定教科・科目等。教科横断的な取組を含む。）

（２）（１）の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進体制

（３）地域の現状や課題等への関心，地域社会への貢献の意義や実感を芽生えさせるための工夫

（４）教育課程の特例の活用の有無（該当がある場合のみ）

（ア）必要となる教育課程の特例とその適用範囲

（イ）教育課程の特例に該当しない教育課程の変更

（５）（１）の取組効果を高めるための教育課程外の取組（該当がある場合のみ）

（６）学校全体の授業改善や教員，生徒及び地域の関係機関の意識改革を促すための工夫（該当がある場合のみ）

（７）生徒の自律的なキャリアデザインを促すための工夫（該当がある場合のみ）

９　類型毎の趣旨に応じた取組内容

＜添付資料１＞２０１９年度教育課程表

＜添付資料２＞学校のパンフレット